



# 日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部便り  
第 44 号  
2013年7月20日  
編集兼発行人  
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



撮影者：大津 博昌  
撮影日：平成 25 年 4 月 22 日  
カメラ：Canon Power Shot SX-260HS  
シャッター速度：1/1250 絞り：f4.0  
焦点距離：32mm

場所：埼玉県秩父市 羊山公園  
撮影余話：秩父市は私が生まれた大里郡の隣町に位置し、長瀬や羊山公園に一度は訪ねてみたいと思っていた。数日前テレビで放映されたのを機に出かけることにした。朝から天気良かったので北関東道、関越道を経由して花園 IC から訪ねた。秩父セメントが採掘した武甲山の麓に広がる丘陵地に絨毯のように芝桜が咲き沢山の観光客で賑っていた。

## 第 111 回 茨城支部総会

1. 日時：平成25年5月24日（金）11：10～14：30
2. 場所：ホテル天地閣（日立市）
3. 出席者：134名
4. 総会：谷口正俊副支部長の司会で、以下の通り盛会の内に進められた。
  - ①物故者への黙祷：残念ですが昨年度 16 名の方が亡くなられ、黙祷を捧げてご冥福をお祈りした。
  - ②支部長挨拶：久野勝邦支部長より、会社や我々茨城支部を取り巻く社会環境の変化に対応して、更なる社会貢献を目指そうとのご挨拶を頂いた。



久野支部長ご挨拶

- ③支部活動報告：臼井敏雄副支部長より、活動状況、今後の課題及び会計決算について報告があった。
- ④同好会活動報告：下坂卓夫同好会幹事長より、14グループの活動報告と会計報告があった。
- ⑤監査報告：長島重和監事より、支部及び同好会の決算報告について適正である旨の報告があった。
- ⑥長寿到達者紹介：白寿1名、米寿8名、喜寿82名の中で当日出席された方々が紹介された。
5. 会社概況説明：電力システム社 長澤克己日立事業所長より会社概況のご説明を頂いた。

6. 懇親会：臼井敏雄副支部長の司会のもと、青木忠氏のご発声で乾杯の後、懇親会が開始された。一年ぶりの再会と健康を喜び合い、会員相互に近況、情報交換など、現役時代にタイムスリップした気分になり、楽しい2時間を過ごすことができた。最後に谷口副支部長のご発声で、「万歳三唱」を行って閉会、再会を約して散会した。



青木氏のご発声により乾杯



谷口副支部長のご発声で万歳三唱

### 茨城支部からのお知らせ

- \* **第 62 期第 3 回 日立社友クラブ理事会報告**
- ・(株)日立プラントテクノロジーの合併に伴い、会員総数は、886名増の6,468名となる見込み。
- ・今年度の総会は10月4日(金)開催予定である。
- \* **平成 25 年 6 月 茨城支部役員会報告**
- ・茨城支部会員数は5月20日現在1,070名で、昨年の総会時点より19名減である。今後若手会員の入会を重点的に推進することになった。
- \* 皆様からも OB 会等で入会勧誘をお願いします。

# 巨樹に親しむ

《NHK文化センター水戸教室の「巨樹を巡る」講師を引継いで》 宇梶 秀夫



私の生家では、毎年秋になると数十枚の筵(むしろ)を家前の庭に敷き、脱穀した籾米を木製のレーキで広げた。時間を計らってその筵を半分に分けるように籾米を集め、再び筵にレーキで均して籾米を適度に乾燥させるのである。筵に広げた籾米の上にきまって黄色の葉と赤い葉が降り落ちた。北風で母屋の脇のイチヨウとモミジから落葉が飛んでくるのである。籾米の天日乾燥は落葉を取り除きながらの仕事、生家では小さくとも私の役割だった。このようなことも巨樹に関心を持つ一因となった。

日立市入四間の関 右馬允は昭和十二年「茨城県巨樹老木誌」を著した。日立鉾山の煙害対策を住民側として活動した関氏は県内を歩き巨樹巨木の写真を撮り歩いた。日立市立博物館では関氏の巨樹写真展を開いていた。同じく、県内巨樹ツアーを開催していた。これら催しは川上千尋代表の「ひたち巨樹の会」が支えた。この活動を知り筆者は設立十九年のこの会に入った。会は日立市・常陸太田市などを主に、現在会員数は四十人である。

NHK文化センターは、生涯学習の場として全国に教室を展開、当県では平成十年四月水戸市三の丸庁舎に水戸教室を開設した。これは茨城県庁が新庁舎移転一年後である。この開設と同じくして川上氏が巨樹巡りの現地講座を開設した。以来この講座を十一年間連続して、川上氏は勇退した。この後、東日本大震災の

年四月より筆者が講師を継いで現在三年目で講座回数二十三回を数えた。

講座の内容は、毎月一回の日帰り、第三土曜日にマイクロスバスに乗り巨樹を巡るものである。講師は下見として現地に赴き、巨樹所有者から訪問の了解を得て事前情報を取得し、説明資料を作成する。資料の内容は、旅程と観察する巨樹の特徴やデータ、巨樹に関わる歴史や話題などをA4用紙で五〜六頁にまとめる。次の講座では実施報告を二頁にまとめ観察結果として車内で報告する。

場所の選定と走行ルートは、グルマツプを使用している。人数が多いので、昼食の場所は緑化運動公園など四阿のような屋根がある所を探す。一カ所の滞在時間は標準で二十分としている。

講座で見た巨樹の主なものを以下紹介する。

## 1. 身近な木ケヤキ

ケヤキは日立市のケヤキ通りの並木のように日頃目にする機会が多い。夏には緑陰を作り、元気な幹肌を見せ、冬には均整のとれた樹形が見られるなど身近な木である。

これが樹齢五百年にもなると若いケヤキに比べ様相がかなり異なる。木の根元には大きな洞ができ、大人数人が入れるほどになる。枝の下で見上げると、何か自分の身体を守ってくれるような気にもなる。

桜川市の八柱神社のケヤキは、樹齢五百年、幹周り8.5mで木の回りを広くとつてある。枝先は一杯に伸び訪問した五月、若葉を通す太陽の光は柔らかかった。



八柱神社のケヤキ

茂木町の九石(さざらし)のケヤキは民家屋敷入口に立ち、樹齢八百年幹周り7.3mである。こちらのケヤキも根元は大きな洞ができ大太鼓の中を見ているような空洞である。

三百年前もこのケヤキは大木で、領主の巡視の際には決まってこの木の下で休憩したといわれている。現在はこのケヤキの周りは柵で囲んであるので、洞には入れないがこちらにも大人数人が入れる大きさである。

## 2. 木工のムクノキ

落葉高木ではケヤキ、ムクノキ、エノキの三種が代表である。幹肌、葉の大きさや形状が似ているので木から離れてみての判別は難しい。特にケヤキとムクノキの葉は似ている。なお、ムクノキは関東以南にのみ分布する。

ムクノキの葉には炭酸石灰を含み表も裏もザラザラしている。手で触ればわかる。このため日陰で乾燥させた葉は細かいヤスリのようになり、木地の研磨に使われてきた。

牛久市の永沼家のムクノキは、樹齢五百年、幹周り6.1mで、氏神の祠



永沼家のムクノキ

と並んでいる。このムクノキの葉を使い松の木片を磨くと表面がすべすべとなり研磨ができた。

## 3. やわらかい葉のエノキ

筑波山南麓に三角形の燧ヶ池があり、その南側の土手に樹齢三百年、幹周り6mのエノキがある。根元に彼岸花、背景に筑波山、夕陽、水田などこのエノキが主役の写真が良い。



樹齢300年のエノキと筑波山

## 4. 豊かな環境に感謝

茨城県は巨樹王国とも言われ、木種も多く巨樹も多い。その巨樹を巡る講座は、受講者の三分の一が十年前後の参加歴を持つように樹の魅力を感じパワーを受け取っている。豊かな森は豊かな海を育み、黒潮親潮が豊かな漁場を作る。恵まれた環境に感謝している。(ひたち巨樹の会 副代表)

宇梶 秀夫氏 連絡先  
〒319-1222 日立市久慈町 5-22-5  
メール: h\_ukaji@net1.jway.ne.jp

リレー随筆(44)

ブッポウソウの或る思い出 石川 皓

今年になって野鳥のブッポウソウ(仏法僧)に巡り会うことができた。このブッポウソウについて何故かA氏を思い出す。12~3年前の5月の連休に同好会の有志他と山形県酒田市の沖合40km位にある飛島という小さい島へ探鳥に行った。日本海に浮かぶ見島、隠岐島、舩倉島、栗島、飛島は野鳥の渡りの中継地で、普段本州などであまり見られない野鳥に会うことができる機会があるので、春、秋の渡りの時期に出かけるのである。

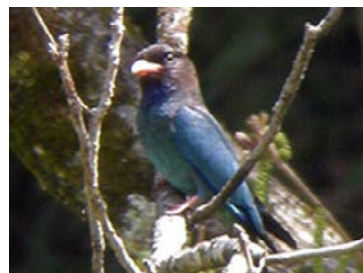


A氏とは同好会の探鳥会で初めて会い、知り合って数回程度だったので付き合いも同好会の探鳥だけ。十数人での飛島探鳥で島の中を探して歩いていた。前日からブッポウソウが入っている情報があり、初めて会えるのを期待して探していた。ある場所まで来た時ハヤブサを発見、皆でそれを追っていたがA氏は後方で別の鳥を発見していた。ハトより小さく青い鳥が林の中へ入っていくのを……。皆はハヤブサに気を取られていたので気がつかなかった。彼はその鳥が何かは知らず、発見の声は少し後になってしまい、彼のみが会えたのだ。結局その鳥にはその後誰も会えることがなく探鳥旅行は終わった。

その後2~3回ブッポウソウに会える機会があったが20~30m離れていたり1~2分前に飛び去られたりこの青い鳥とは縁がなかった。

A氏はこの探鳥旅行後2年ほどで亡くなられたが、ブッポウソウを聞く度に思い出すのである。

初めての見る機会を失ってから13年後の今年(2013/5)広島へ行く機会ができた。その矢先広島でブッポウソウを見られるとの情報を耳にし、調べた結果巣箱を電柱に取り付けて保護、繁殖しているとのこと。ブッポウソウは樹木の洞穴や、以前は電柱(木柱)にキツツキによって空けられた穴を利用して営巣、子育てをしていたが大きな樹木が少なくなり、電柱もコンクリートに代わったため営巣するところが無くなったため、巣箱を取り付け保護するようになった。岡山や広島が盛んである。



ブッポウソウ (2013年5月広島県庄原市で撮影)

広島市内から車で1時間程度の庄原市総領町で保護活動をしておられる方に、ブッポウソウが出そうな場所を案内してもらった。今年は渡りが遅く5月連休では数羽が確認されていたので来ていることは確実。今回の探鳥はブッポウソウだけ。また1羽だけでなく複数が居ることで会える確率は高い。何とか電線に止まる1羽を発見。初めて自分の目で見る事ができた。A氏との機会から13年目やっと巡り会うことができた。

(注)ブッポウソウ(仏法僧):環境省絶滅危惧IB類

ハトより少し小さく頭はすすけた黒、体は青緑色で翼に白斑あり。くちばしと足は赤い。ゲグゲッまたはゲグゲゲゲなどと鳴く。以前はコノハズク(フクロウの種類)の鳴き声と間違われ鳴き声からブッポウソウと名付けられた。熱帯アジアを中心に分布し日本では夏鳥である。

同好会行事に参加して

「デジカメクラブ」 溝口 忠憲



10年ほど前にテレビショッピングで衝動的に買ったデジタル一眼レフカメラをもう少し使いこなしたくなり、昨年NHK文化センターの写真講座を受講しました。そんな折、同好会のデジカメクラブに登録したところ、例会や写真撮影会の案内がメールで届くようになり、思いきって例会に参加してみました。写真と言う共通の趣味で結ばれた皆さんはとても楽しそうで、会の雰囲気もよく、それ以後毎月一回の例会を楽しみに参加するようになりました。この4月、日立夜桜撮影会に初めて参加し、日没後のマジックアワーに群青色に変化して行く夜空を背景にライトアップされた夜桜を心ゆくまで撮影しました。幹事に感謝!例会では撮影写真のプレゼンがあり、辛口の講評もありますが褒められることもあり、またいい写真を撮ろうと言う気持ちにさせられます。

「野鳥自然観察グループ」 小林 清峻



6年前の今頃、野鳥に興味を持ったわけでは無いんですが「野鳥自然観察」に参加してみました。路傍の草花や野鳥について先輩方(専門家達)の丁寧な説明は有難く、またその知識と見識の深さには驚かされました。白い小さな花は「フタリシズカ」、飛んでいる鳥を見

ては「カワラヒワ」、鳴声を聞いては「カワセミ」が近くに居るから注意するように、と声がかかります。誰かが見つけると全員それに目を注ぐ緊張と感動の瞬間です。6月の観察地は御前山で、この目玉は「サンコウチョウ」です。全長44.5cmとのことですがその半分以上はヒラヒラ舞う光沢ある黒い尾羽が占めており、小丸い眼はコバルトブルーのリングで彩られ、その愛くるしさが余韻となり、われを忘れさせてくれます。

今は双眼鏡を携え野鳥に会うことを楽しみにしております。

「PC基礎」 今井 信一



パソコンを使い始めて約30年になる。上手とは言えないが人並みに使えていたと信じていた。しかし昨年10年以上使っていたWindows XPの調子が悪くなり寿命が近い、とWindows 7を買った。使い始めると戸惑うことが次々と起こった。要領書を見ながら四苦八苦しただが分からないことが沢山残ってしまった。基礎知識を忘れていたことと新しいものが入力されていないことを痛感した。人に聞いて何とか使えるようになった。

そんな時基礎講座の世話人から勉強に来ないかと誘われ、喜んで出席を決めた。教室ではどんな悩みも即答で教えてもらえ、便利な使い方も沢山学んだ。パソコンの関連技術は進歩が速く、勉強することがあまりに多く今後も続けて行くつもりです。新しい活用方法も知りパソコンが楽しい。講師に感謝しています。

## 同好会の行事ご案内（8月～10月）

### 1. 第57回研修会

#### 【日立中央研究所見学と深大寺参拝】

日立製作所中央研究所の庭園を含めた見学と東京都調布市の深大寺参拝、神代植物園の見学を行います。皆様の参加をお待ち致しております。

- ・開催日：平成 25 年 9 月 19 日(木)
- ・集合場所・発車時刻：  
大甕駅前(常陽銀行大甕支店前) 7:00  
JR 上り 6:51 着、下り 6:52 着  
を待って出発  
日立南ドライブイン 7:10
- ・帰着：大甕駅前 18:20 頃の予定
- ・会費：5,000 円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着 40 名
- ・申込締切：8 月 30 日
- ・申込先：石田 和夫 Tel/Fax : 0294-34-0209  
E-mail : ishida.kazuo@nifty.com

### 2. 第54回歩こう会【常陸太田歴史の街を歩く】

今回は歴史の街、常陸太田市を選びました。同街は水戸徳川家の印象が強いと思いますが、佐竹時代の史跡を辿りながら、初秋の葡萄を味わいつつ常陸太田市を歩きたいと思います。

- ・開催日：平成 25 年 9 月 26 日(木)  
雨天延期 10 月 10 日(木)
- ・集合：常陸太田市山吹運動公園駐車場(体育館がある入口) 10:30 スタート
- ・コース：山吹運動公園→若宮八幡宮→舞鶴城址→太田一高(講堂)→馬場八幡宮→増井ぶどう園(昼食)→正宗寺→山吹運動公園 14:00 解散(8.0km ほぼ平坦地)
- ・持参品：弁当、飲み物
- ・会費：200 円(非会員はプラス 300 円)
- ・申込締切：平成 25 年 9 月 19 日(木)
- ・申込先：須江 二郎 Tel/Fax : 0294-53-5901  
E-mail : j-sue@nifty.com

### 3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		8月	9月	10月				
野鳥自然観察グループ	城戸勝弘 0294-39-2119 kkido@kxd.biglobe.ne.jp	休会			休会		参加費：¥200/回 原則雨天中止	
			16(月)		栗原	9:00～		
				21(月)	赤羽緑地	9:00～		
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	14(水)	11(水) 大会	9(水)	同好会本部	10:00～ (大会) (9:30～)	参加費：¥100/回 大会：¥1500	
	28(水)	25(水)	23(水)					
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	22(木)	19(木)	17(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700	
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp		9(月)	15(火)	明治商会	10:00～	参加費：¥1600/回	
		26(月)	24(火)	28(月)				
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	7、21、 28(水)	4、11、 18(水)	2、9、 16(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ：¥2500/年	
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	5(月)	9(月)	7(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む	
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	2(金)	6(金)	3(木)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費：¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	6(火)	3(火)	1(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
	基礎講座	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	8(木)	10(火)	8(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費：¥800/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	27(火)	25(水)	22(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費：¥700/回
	シニアパソコン	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	26(月)	17(火)	21(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
	Fireworks勉強会	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	23(金)	20(金)	18(金)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費：¥800/回 昼食代含む
	Dreamweaver実践講座		29(木)	26(木)	24(木)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費：¥800/回 昼食代含む

**訃報** 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

小杉 哲夫 平成 25 年 2 月 18 日 享年 78 歳  
 島田 徳樹 平成 25 年 4 月 5 日 享年 87 歳  
 渡邊 則之 平成 25 年 6 月 11 日 享年 86 歳  
 二平 豊治 平成 25 年 6 月 30 日 享年 87 歳

**編集後記** 今年度総会が盛会であったこと、喜ばしい限りです。宇梶さんご紹介の巨樹にはトトロの森を思い起こし、何か心ときめかすものがあります。ぜひ訪ねたいですね。石川さん思い出の仏法僧は、私も子供の頃に愛知県・鳳来寺山でその声を聞き、懐かしさが蘇りました。

長島 重和